

日本語学校生のアルバイト事情と日本語力への影響 母語話者である私たちにできること

Part-time job situation for Japanese language students and its impact on Japanese language proficiency
What we can do as native speakers

星野美海 佐々木こはね 和田紗矢子 NGUYEN THI HONG THAM
指導教員 岡葉子

帝京大学 外国語学部 国際日本学科 岡ゼミ

日本語学校に通う留学生を対象にアンケート調査を行い、アルバイトと日本語能力試験のレベルについて質問した。その結果をもとにアルバイトが学習者の日本語能力に与える影響を考察する。最後に、日本語母語話者が日本語学習者を支援する方法について提案する。

キーワード：日本語学習 留学生 アルバイト アンケート調査

1. はじめに

本ゼミナールでは、東神奈川にあるクリエイティブ日本語学校に訪問した。そこに在学する生徒の授業見学や交流を通じて日本語を教えるボランティア活動を行った。その活動の中で日本語学校生のアルバイトの現状を知り、アンケート調査を行うことにした。本発表では、調査を実施して明らかとなった日本語学校生のアルバイトと日本語力の関連と母語話者ができる改善案の提案を発表する。

2. 日本語学校生の現状

国内の日本語学校に在籍している学生数は令和4年度時点で27,609名である（日本語教育振興協会, 2023）。日本では外国人留学生の就労条件として、アルバイトには週28時間以内の就労時間制限がある。そのため、朝から夕方までは学校に通い、より自給の良い夜勤で働く学生が多くいる。学生たちとの交流の中で「勉強に集中したいけど、夜勤の影響で授業中に眠くなってしまふ」「日本語を学習中の私たちを雇ってもらえる場所は工場ばかり」といった声が多くあった。このことから、アルバイト事情と日本語力の影響について調査した。

3. 調査内容

筆者らは、アルバイトの日本語力への影響を調べる

ため、日本語学校に通う日本語学習者56名に以下のようなアンケートを行った。

1	日本語能力試験のレベルは何ですか	N1～N5
2	1日何時間程度日本語を学習しますか	～3時間 3～4時間 5～6時間 7～8時間 8時間～
3	アルバイトで日本語をどのくらい使用するか	5(たくさん) ～1(全くない)
4	1日何時間働いていますか	～3時間 3～4時間 5～6時間 7～8時間 8時間～

4. 調査まとめ

アルバイトの日本語能力の関連性を調査するため日本語能力ごとに調査結果をまとめた。

2、一日何時間程度日本語を学習しますか。

	N5	N4	N3
～30分	1	2	7
30分～1時間	4	8	12
1～2時間	1	10	4

2～3 時間	0	3	2
3 時間～	1	0	0

2より一日の日本語学習時間は30分～2時間であることが分かった。

3,アルバイトで日本語をどのくらい使用するか。

	N5	N4	N3
1(全くない)	1	2	0
2	1	4	4
3	0	8	8
4	1	6	7
5(たくさん)	2	2	6
回答なし	0	1	0

3の結果からN4とN3を比較するとN3のほうがアルバイトで日本語を多く使用する人の割合が高いことがわかる。

4,一日何時間働いていますか。

4より、全体的に見て、5～6時間、7～8時間働いていると答えた学生の割合が多かった。

	N5	N4	N3
～3 時間	0	0	0
3～4 時間	1	3	1
5～6 時間	2	16	10
7～8 時間	1	4	10
8 時間～	1	0	4
回答なし	1	0	0

5. 考察

本調査から、アルバイトで日本語を多く使う学生の方が日本語能力は高いことが推測できる。アルバイトでは、客や従業員との会話で日本語を使う場面が多くある。そのため、アルバイトでの日本語使用度と日本語力には関係があると言える。また、アルバイト時間に多くの時間を費やし、学習時間が確保できていない可能性が考えられる。これは、就労時間制限のある学習者にとっては日本語を学習すること以前に生活を送るために働く時間がより重要であり、生活の中で日本語を使う場面は少なくないからではないだろうか。このことか

ら、アルバイトでの日本語での会話は日本語学習者にとって一つの学習ツールとして日本語学習に良い影響を与えていると考えられる。

アルバイトで困った経験について自由記述では、「日本語がわからない」という答えが多かった。また、「アルバイト先で友達がいらない」という答えがあった。このため、アルバイト先で「やさしい日本語」(庵 2016)を使うことが必要だと考えられた。

6. 参考文献

庵功雄 (2016) 『やさしい日本語－多文化共生社会へ』(岩波新書) 岩波書店

日本語教育振興協会 (2023) 「令和4年度 日本語教育機関実態調査」

<https://www.nisshinkyō.org/article/pdf/overview07.pdf> (2024年10月31日閲覧)